



来てだあこ
見てだあこ
暮らしてだあこ



「おかえり。」

一度、名張を訪れた人に。
名張でかつて暮らしていた人に。
どこか懐かしく、まちが迎えてくれる。
いつでもおいで、おかえり。

だあこ

検索

名 三 張
重
Nabari City

名張版 地域共生社会の実現に向けて

名張市地域包括支援センター長

宮崎 正秀



名張市の概況

名張市は、三重県の西部、伊賀盆地の南西部にあって、大阪へ60km、名古屋へは100kmで、ちょうど近畿・中部両圏の接点に位置しています。市域は東西10.6km、南北13.1km、面積129.77km²で、西・南側が奈良県に接しています。山地の多い地勢は新鮮な空気や清らかな水とともに、風光明媚な自然に恵まれています。

古くは伊勢参りの宿場町として形造られ、江戸時代には藤堂氏の城下町として発展しました。

明治から昭和に掛け、数回の合併を行い、昭和29年3月31日に市制を施行しました。

昭和38年以降には大規模な宅地開発が進み、大阪方面への通勤圏として急速な発展を遂げるとともに、市制発足当時3万人であった人口も、昭和56年度には人口急増率全国1位になるなど発展を続け、8万5千人台まで増加しましたが、現在では8万人を割り、減少傾向にあります。

名張市の位置・面積

面積 129.77km²

海拔 225.93m

名張市の人口(平成30年4月1日現在)

総数 78,920人

男 38,120人

女 40,800人

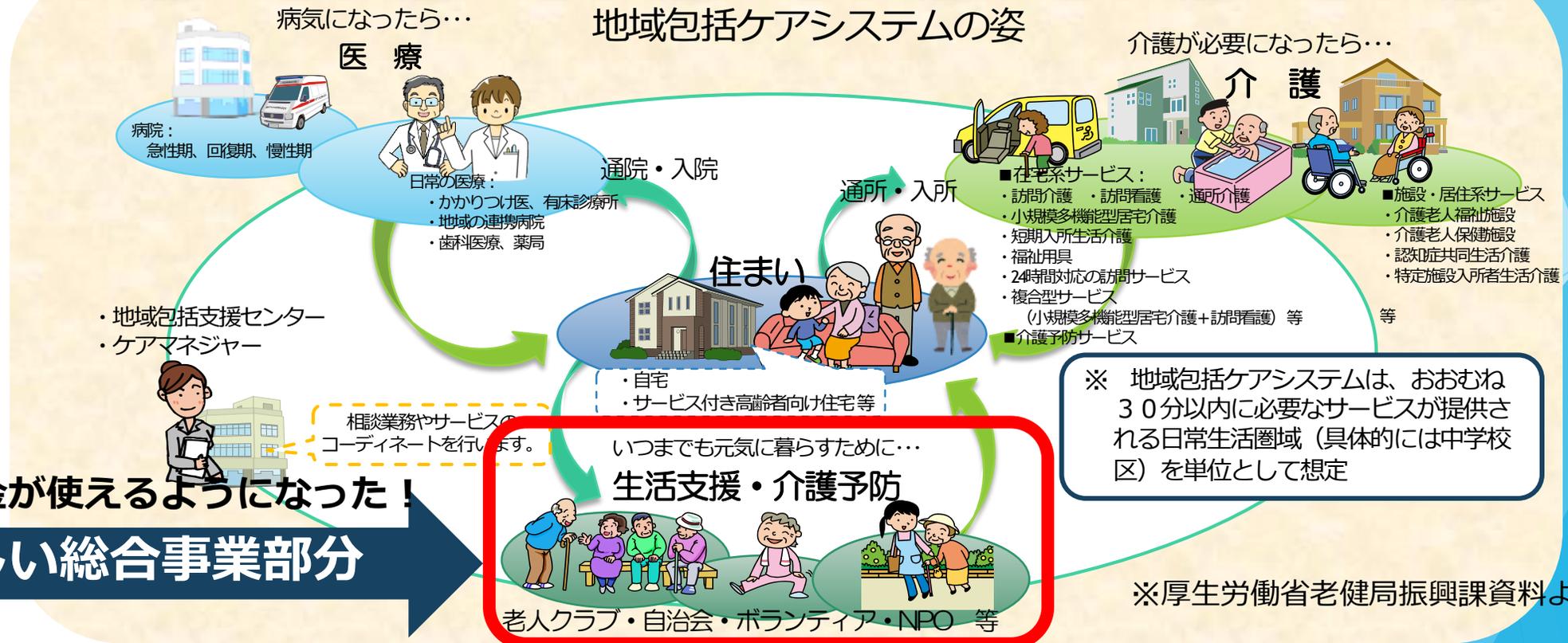
世帯数 33,775世帯

高齢化率 30.5%



地域包括ケアシステムの構築（国の動向）

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



保険料、税金が使えるようになった！

新しい総合事業部分

地域共生社会の実現にむけて（国の動向）

- ▶ 地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律（平成29年6月2日公布）において
- ▶ 社会福祉法を改正し、**地域共生社会の実現に向けた取組を推進させる内容が盛り込まれた。**
- ▶ 「地域共生社会の定義」（ニッポン一億総活躍プランより）

子ども・高齢者・障害者を含めた全ての人々が暮らしと生きがいを共に作り、高め合える地域社会のことで、国が構築を目指す地域包括ケアシステムを、さらに深化させたもの。

与えられる福祉から、ともに創る福祉への転換

活動者の増加→相互連携→コミュニティ機能の向上

分野別の施策を横断的につなぎ、総合化

ボランティア等の活動の参加
生活支援と介護予防

行政に必要な視点

名張市の地域共生社会の実現にむけた取組

平成17年度 第1次地域福祉計画 ～『ともに生き ともに創る 心ふれあう幸せのまち 名張』

名張市地域福祉計画



計画の理念

- ◇ともに生き
- ◇ともに創る
- ◇心ふれあう幸せのまち

共生社会の創造

第3次地域福祉計画推進中
(平成27年度～平成31年度)

戦略

- 「人の力」を生かす。
- 「地域の力」を高める。

ソーシャルキャピタルの醸成

➡名張市が目指した地域共生社会構築に必要な3つの要素

- ・専門職を活用できる**地域の力**。(地域づくり組織)
- ・地域と連動連携できる**専門職の力**。(まちの保健室)
- ・コミュニティ施策と地域包括ケア施策を連動させる仕掛けを**デザインできる行政の力**。(地域福祉計画 等)

ポイント

例えば、「まちの保健室」がなくても、圏域の包括や社会福祉協議会の地区担当。社会福祉法人や地域密着型の介護事業所など、身近な専門職が受け止める場を担える。行政が地域福祉計画(デザイン)をしっかりと作成し、地域との連動を図ることが重要！

名張市の地域共生社会の実現にむけた取組

子ども・高齢者・障害者を含めた**全ての人々が暮らしと生きがい**を**共につくり、高め合える**地域社会（＝地域共生社会）を目指して

①「我が事」の意識づくり

①地域づくり組織

小学校圏域に設置した包括的住民自治組織 15地域

平成15年度から地域への各種補助金をゆめづくり交付金へ

②「丸ごと」の相談支援体制

②まちの保健室

地域福祉の活動拠点として設置した「まちの保健室」

平成18年度から地域包括支援センターのフランチとして

③多機関の協働

③エリアディレクター (相談支援包括化推進員)

分野別縦割りの支援を横断的に一歩踏み出した支援に！

平成28年11月から地域包括支援センターに配置

名張市の地域共生社会の実現にむけた取組経過

- 平成14年4月 現市長就任
- 平成15年9月 全14地域で地域づくり組織結成
- 平成16年3月 名張市総合計画「理想郷」プラン 策定
- 平成17年3月 第1次地域福祉計画 策定
- 6月 名張市自治基本条例制定
- 10月 全14公民館の地域委託完了
- 平成18年3月 地区保健福祉センターまちの保健室2箇所開設
- 4月 本庁に地域包括支援センター開設
- 平成20年3月 14地区に設置
- 平成21年4月 名張市地域づくり組織条例施行
- 平成22年3月 第2次地域福祉計画 策定
- 5月 地域編成見直しにより1地区増、15地区に設置
- 平成28年11月 名張市地域福祉教育総合支援システムキックオフ
エリアディレクターを地域包括支援センターに配置

①地域づくり組織（名張流まちづくり） ～我が事の意識づくり～

第1ステージ 「交付金化」	第2ステージ 「組織見直し」	第3ステージ 「地域ビジョンの策定」	第4ステージ 「市民センター化」
------------------	-------------------	-----------------------	---------------------

○平成15年3月に「名張市ゆめづくり地域交付金の交付に関する条例」を制定。
 ◆小学校圏域に1つずつの包括的住民自治組織「地域づくり組織」を15地域に設置。各種補助金を交付金として一本化。

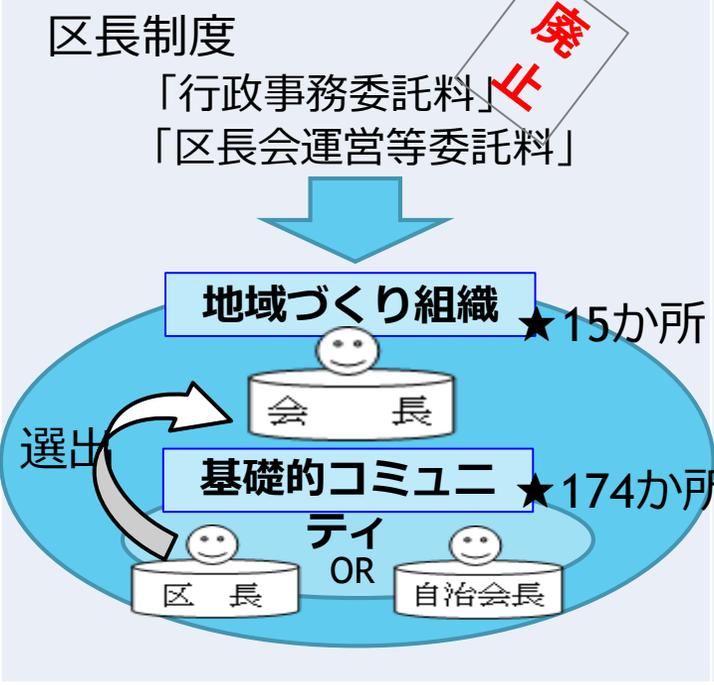
○昭和30年代からはじまった「区長制度」を廃止し、区・自治会である「基礎的コミュニティ」と、それを包含する小学校校区を単位とする「地域づくり組織」に整理。

○15地域が個性ある将来のまちづくりのための基本方針、将来像、それに基づく実施計画を策定。

○地域づくり組織に指定管理委託していた公民館を市民センター化し、地域づくり活動・生涯学習活動・地域福祉活動の拠点としてスタート

ゆめづくり地域交付金の概要
 1. 地域づくり組織の活動支援として交付
 2. 用途自由で補助率や事業の限定がない交付金
 3. 住民合意でまちづくり事業を実施し、交付金を活用
 4. ハード・ソフトは問わない。ただし、宗教活動、政治活動に使用してはならない。

平成15年度実績： 5,000万円
 平成30年度実績： 1億600万円



平成21年～住民アンケートの実施
 各地域にて策定委員会を組織
 平成24年3月地域ビジョン発表会
 平成25年3月市総合計画の地域別計画に位置づけ



平成28年4月～市民センター化
 平成30年5月～市民センター和室で地域づくり組織によるレストラン営業開始



①地域づくり組織（名張流まちづくり）

～ 住民主体のまちづくり

区又は自治会 174地区

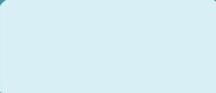
おおむね町の区域で、住民どうしの交流と相互扶助を図る。
区長（自治会長）を届出とし、住民の意思を代表する。
活動資金としては、区費（自治会費）、
地域づくり組織からの配分金（ゆめづくり地域交付金加算額）など

地域づくり組織 15地域

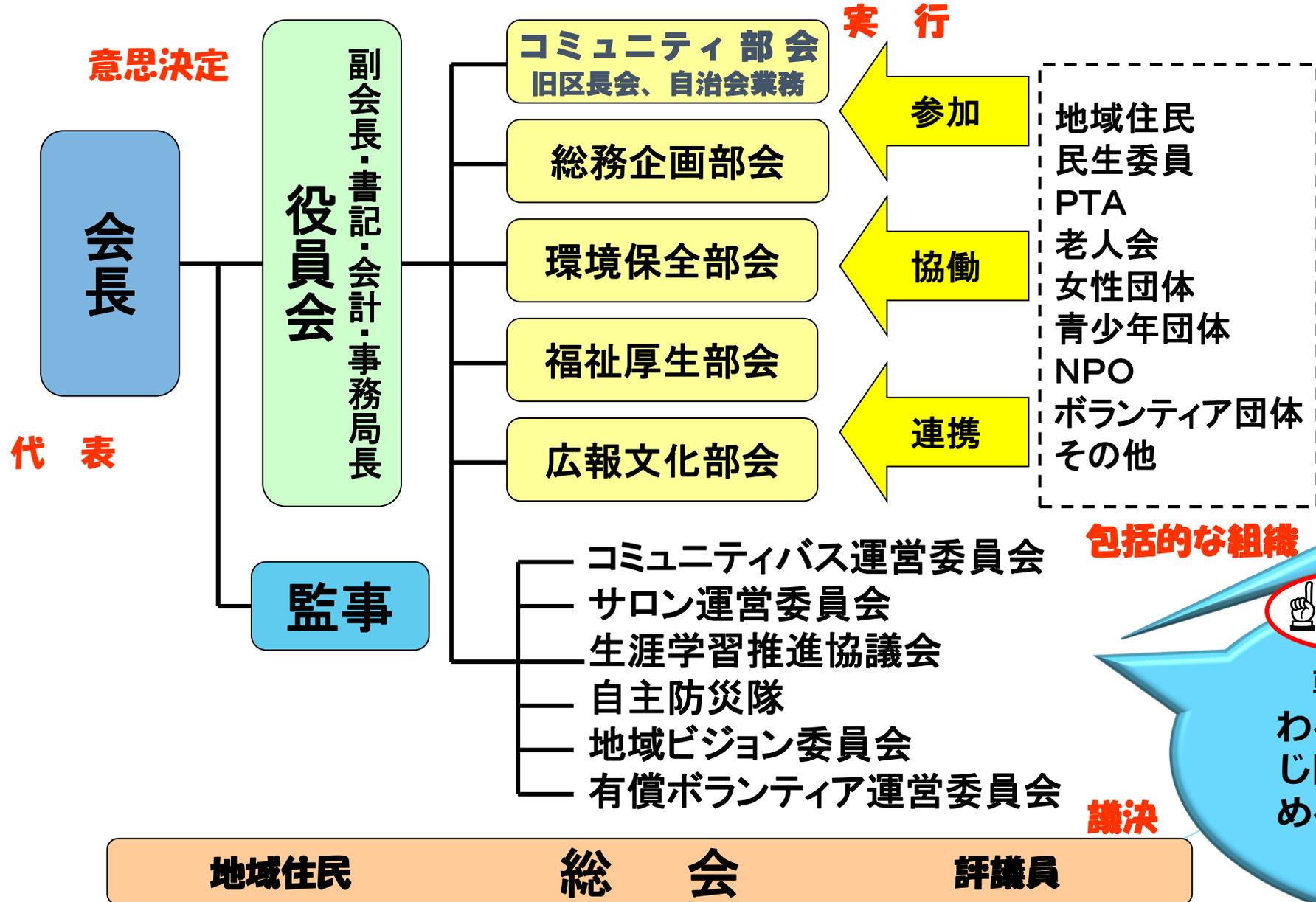
おおむね小学校区に設置。地域課題の解決、地域振興及び住民交流などの事業を行う。民主的な運営及びそのための規約を要件とする。
活動資金としては、ゆめづくり地域交付金
その他、社協補助金、会費など

地域づくり代表者会議

地域づくり組織代表者15名で構成する。事務局は、市地域経営室で相互間の連絡調整、意見交換、市との連絡調整などを行う。

 は、介護保険日常生活圏域5圏域

①地域づくり組織（体制の例）



地域のことは
地域で
考えてもらう
小さな行政

新たな取組は主に
専門委員会で

包括的な組織

ポイント

専門委員会は任期で変わるあて職ではなく、同じ問題意識を持つ人を集めること。
リーダーが重要！

①地域づくり組織（名張流まちづくり）

名張市では、「公共」は、行政のみが独占的に担うという考え方を改め、基礎的コミュニティと地域づくり組織等と行政が協働で担うことによって、従来の行政のやり方だけでは対応できなくなってしまった領域や内容のサービスを提供できる」といった考え方が広がりつつあり、「**住民が自ら考え、自ら行うまちづくり（ソーシャルキャピタル）**」が醸成されてきている。行事だけでなくさまざまな事業の展開が可能となった。

特徴的な地域づくり組織の取組

■ 地域の活性化

地域の活性化を目的としたお祭りなどのイベント実施



■ 防犯パトロール

地域の防犯を目的とした青色回転灯車によるパトロール



■ 配食サービス

地域住民が配食ボランティアとして、定期的にお弁当を配達し、地域で見守る。



■ 住民主体の生活支援

地域住民同士がその生活を有償で支え合う仕組み。向こう三軒両隣の関係性を再構築。

（隠おたがいさん）



■ 子育て広場

地域で子育てを応援する子育て広場の開設（おじゃまる広場）



■ 教育との連携

地域住民が教育の現場に学習支援で参加。地域愛をもった子ども達が育ちつつある。

（ほめほめ隊）



①地域づくり組織

～地域包括ケアシステム、地域共生社会を象徴する地域づくり組織の取組～

■生活支援（有償ボランティア組織の活動の様子）



家具の移動



障子貼り



庭木の剪定



ポイント

★地域包括ケア研究会 植木鉢の図より

1. 15ある地域づくり組織のうち、9つの地域で実施。住民主体の生活支援サービス。最低限の実費と対価を払い地域間で生活を支えあっている。
2. 子ども・高齢者・障害者を含めた全ての人々が暮らしと生きがいを共に作り、高め合える地域社会を目指す取組。
3. 有償ボランティアの会員であるサポーター、支援会員も主に地域のご高齢の方々。支援をおこなうことにより社会貢献を実感し、高齢者の生きがい、介護予防につながる。
4. 地域の高齢者が地域の高齢者を支えるしくみは、地域の中でのつながり・互助(地域力)を高める。

掃除の手伝い



簡単な大工仕事



洗濯



①地域づくり組織

隠おたがいさん (名張地区)

※開所日

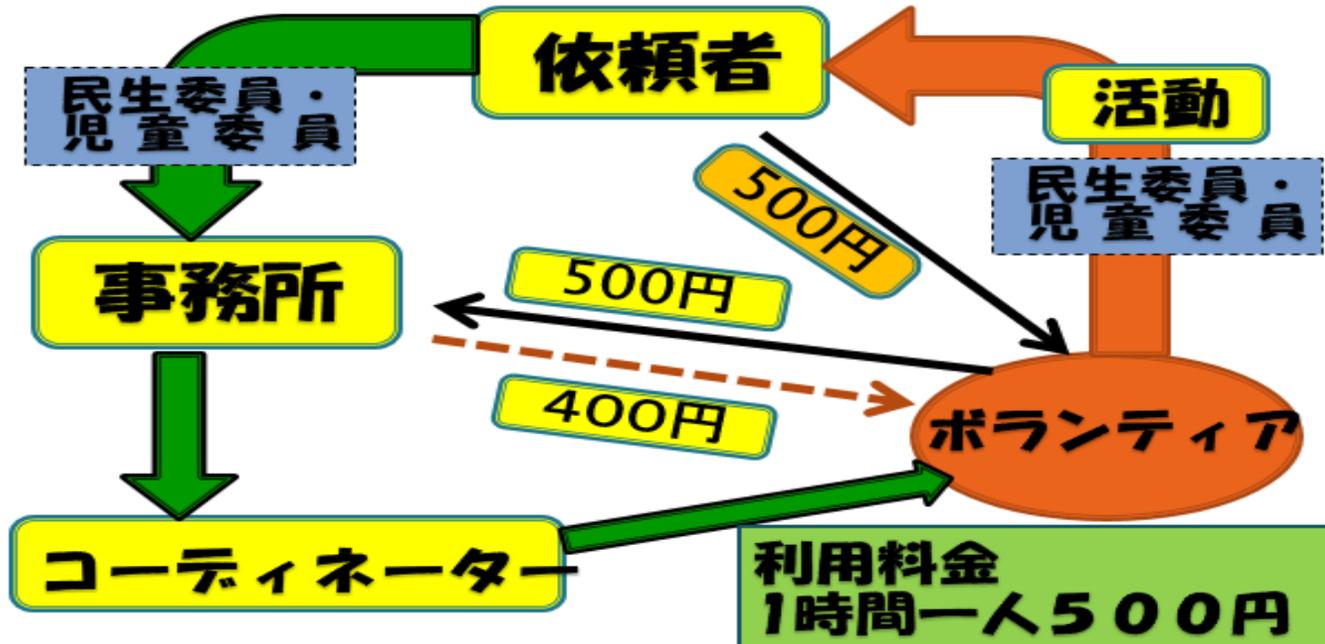
月曜日 水曜日 金曜日

※時間：午前9:00～12:00

※スタッフは毎回2人ずつの当番制

※報酬：1時間200円

サービス開始から終了まで



■ 有償ボランティア組織の活動の様子

事務所



【活動財源】

- 介護予防・日常生活支援総合事業 (要介護者等日常生活支援事業補助金) 年間30万円の運営補助。(移動支援実施の場合は+70万円)
- 利用者からの謝礼金・会費
- 地域づくり組織からの予算措置 など

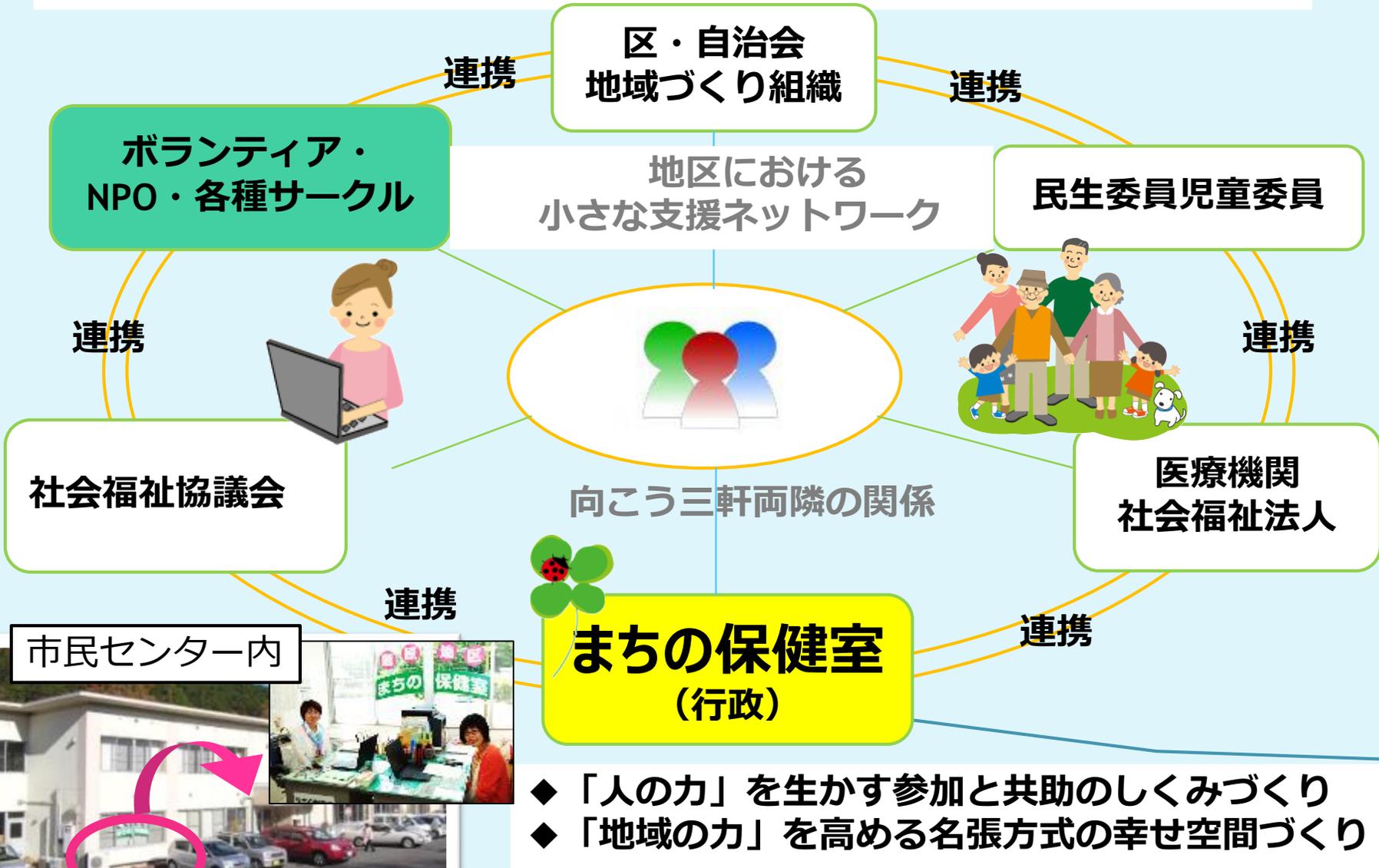
② まちの保健室

平成17年在宅介護支援センター 相談実績 5,020件

平成29年まちの保健室 相談実績 22,771件



地域の福祉資源を結ぶ大きな地域福祉ネットワーク



- ◆ 「人の力」を生かす参加と共助のしくみづくり
- ◆ 「地域力」を高める名張方式の幸せ空間づくり

まちの保健室について

- ・ 設置根拠（平成17年度）『第一次地域福祉計画』
- ・ 地域づくり組織と一体的に地域福祉を推進するのが目的 **ポイント**
- ・ 市内15か所、おおむね**小学校区単位**の地域づくり組織事務所（市民センター）に併設。
- ・ 社会福祉士や看護師、介護福祉士など有資格者 各2～3名を配置

活動内容

- (1) 健康・福祉の総合相談
電話・来所・訪問相談 介護保険の認定調査、申請代行も
- (2) 健康づくり・介護予防
健康相談、健康づくり・介護予防の啓発
- (3) 見守り・支援ネットワークづくり
サロンの立ち上げ、運営支援

② まちの保健室

 お花見



毎年恒例の
名張バリバリ
体操♪

 夏祭り



血圧も測り
ますよ〜

特徴的な
5つの機能

 ポイント

① 安心して相談で
きる地域の情報拠
点 (課題をかかえこませ
ない)

② パイプ役として
の機能 (連携の核)

③ 長期的かかわり
(制度につながるまでの
中心のかかわりとその後
の見守り)

④ 地域とのかかわ
り (地域と一緒に支援
する。地域そのものへの
支援)

⑤ 専門職らしくな
い (敷居は低い、されど
専門職。絶妙な距離
感)

 敬老会



敬老会・子供会
は企画段階から
参加★

 芋ほり



健康や防災
を楽しく
OXで!



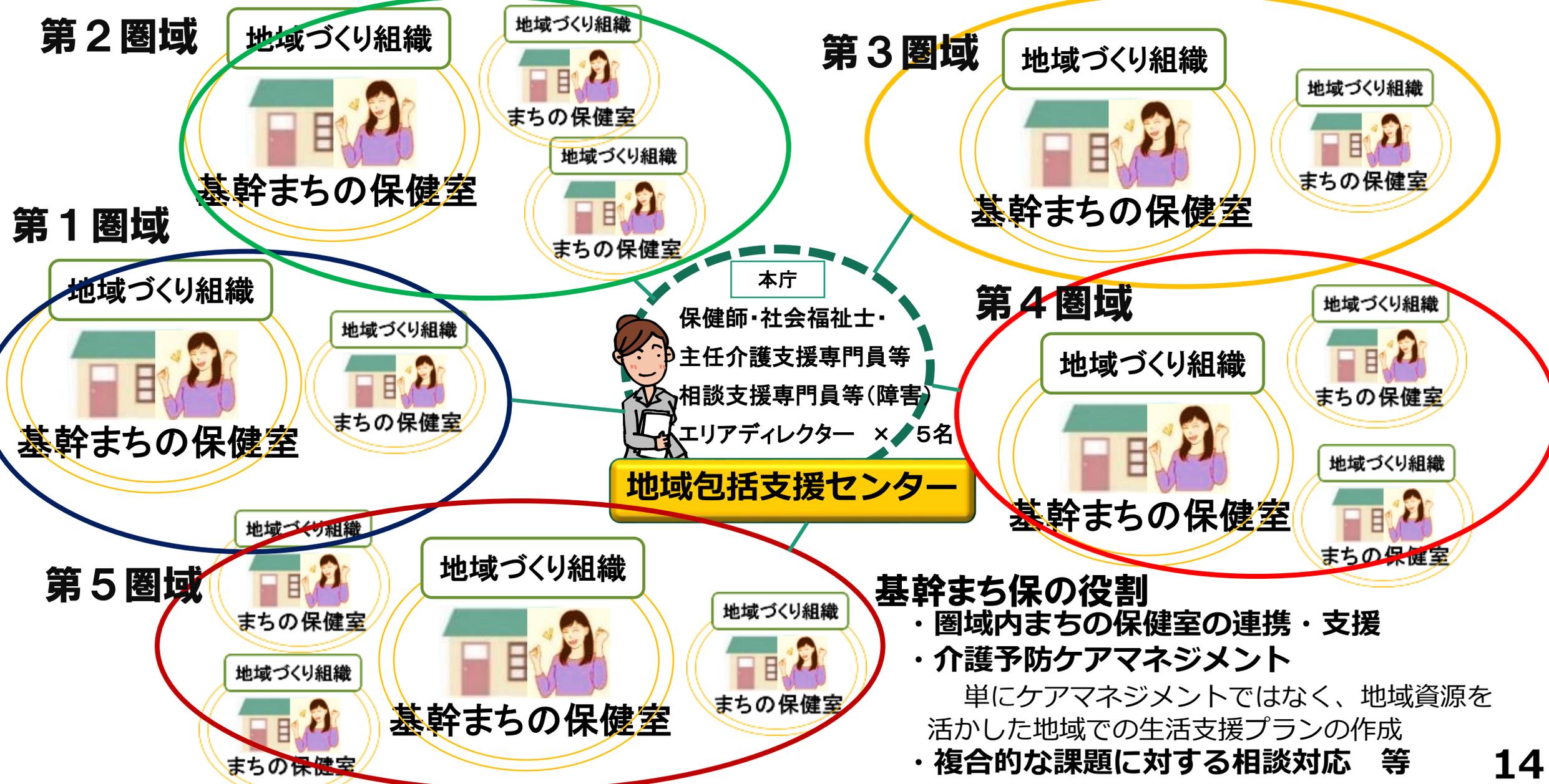
 子供会クリスマス会

 餅つき
大会



「地域の方々に、安心して活動して
いただけるよう、試行錯誤の毎日です。」

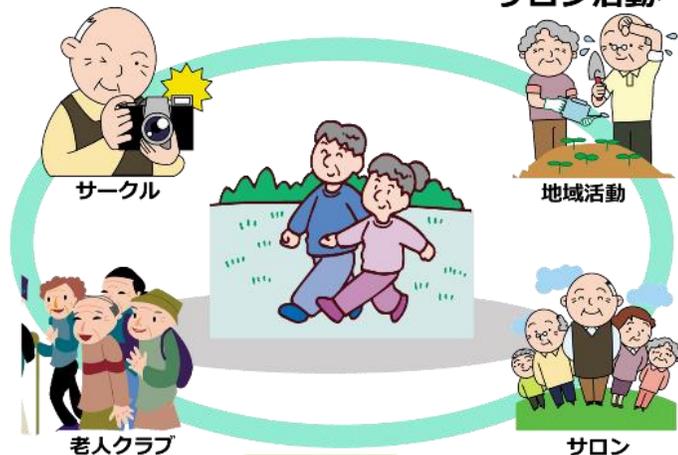
②まちの保健室 ～ 第2ステージ 並列のまち保から圏域に基幹まち保を設置



- 基幹まち保の役割**
- ・ 圏域内まちの保健室の連携・支援
 - ・ 介護予防ケアマネジメント
 - 単にケアマネジメントではなく、地域資源を活かした地域での生活支援プランの作成
 - ・ 複合的な課題に対する相談対応 等

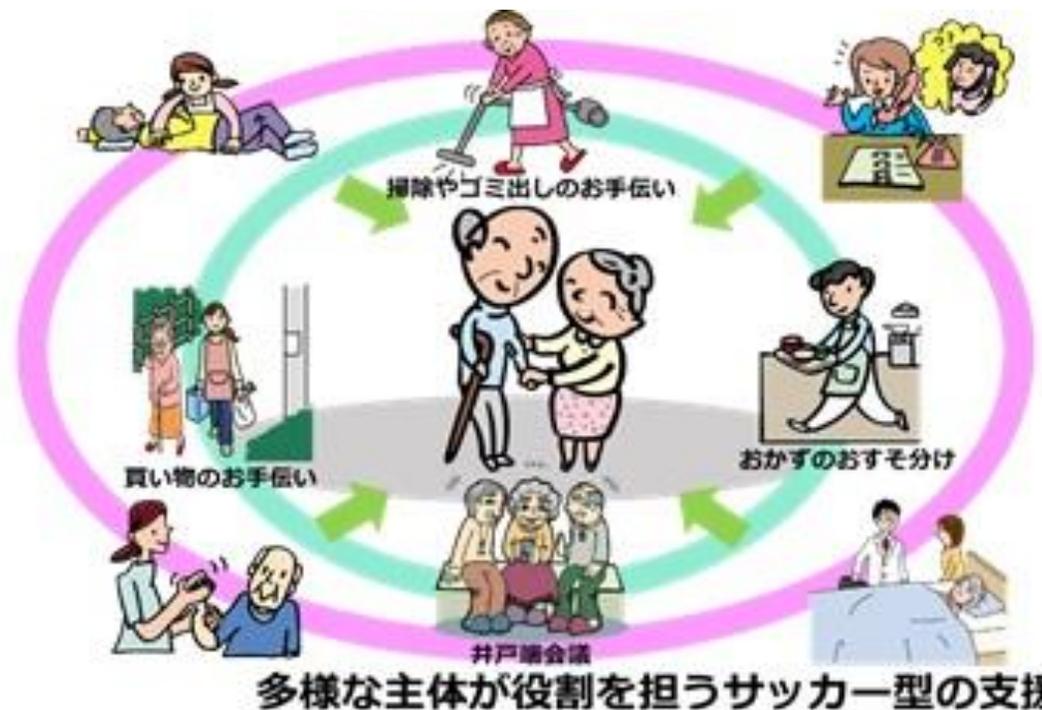
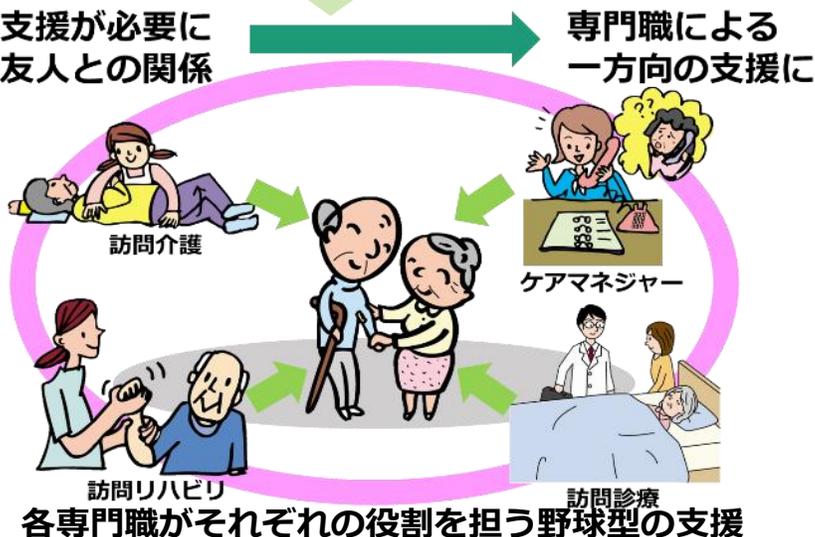
② まちの保健室 地域資源を活かした地域密着の「生活支援プラン」

お元気な時は



元気な時は地域活動やサロン活動に参加していても、いざ支援が必要になると、専門職を中心とした介護予防プランを受けていても、地域での人間関係は希薄になりがち・・・

骨折や病気で支援が必要になると地域や友人との関係は希薄になり



※介護専門職は身体介護を中心とした中重度認定者支援に重点化

地域資源を活かし、より地域に密着した介護予防や生活支援を行い、生活支援や介護が必要になっても、地域社会の中から切り離されず、なじみの関係を継続できる。

③エリアディレクター(名張市地域福祉教育総合支援システム) ~ 地域まるごと福祉・教育構想 ~

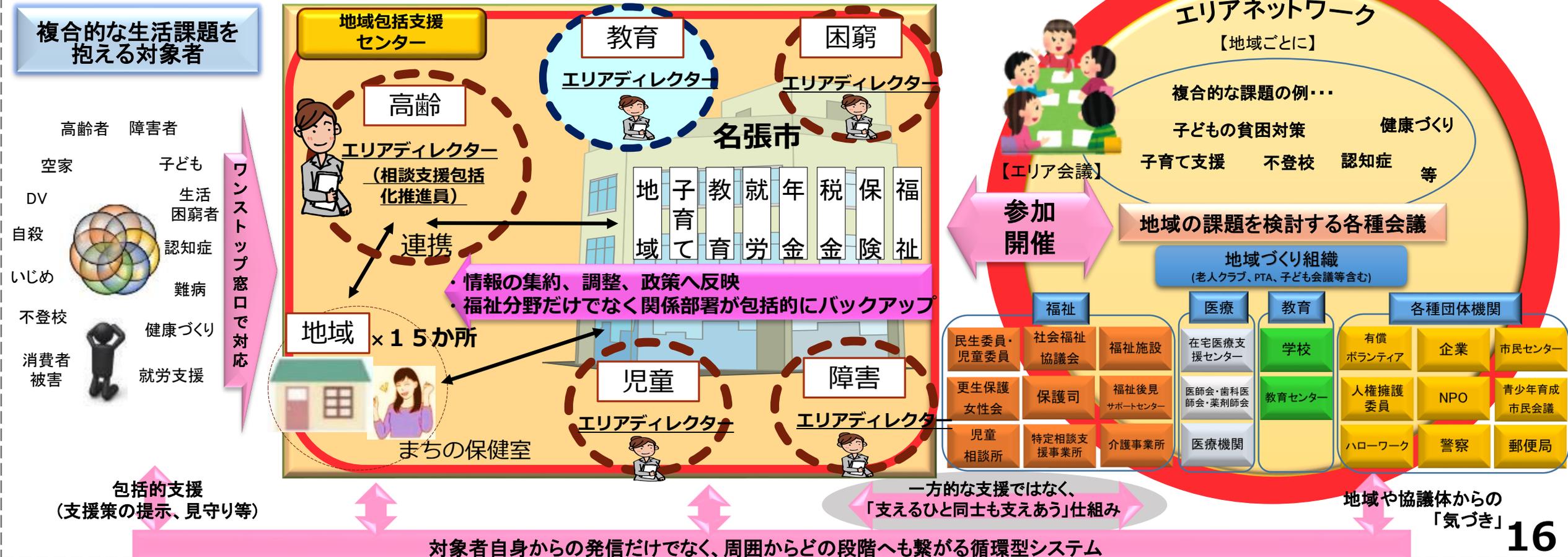
- 【システム概要】
- ①地域における支え合い活動や教育との連携など、地域の自主的な活動を支援するため、「地域づくり組織」を基盤とした各施策を推進。
 - ②身近な距離で分野を超えた総合相談を行い、地域をバックアップする「まちの保健室」の整備と体制強化。
 - ③「エリアディレクター」による多機関協働の取組で、エリアネットワークを強化し、地域の課題解決能力を向上。
- これらの施策を一体的に推進し、名張版地域共生社会を構築する。

★エリアディレクターの業務

地域づくり組織、まちの保健室と協力し、把握した個別のケースについては、高齢、障害、児童、困窮、教育の各分野で任命された5名のエリアディレクターが支援を組み立て、エリア会議を通じて関係者(関係機関)の連携調整を行う。

縦割りの関係者から一歩踏み出した支援を引き出し、それらを積み重ね、地域の課題解決能力を高める。(1+1を3にしていく) **ポイント**

【名張市の包括的相談支援体制】



③ エリアディレクター エリアネットワーク会議（相談支援包括化推進会議）



平成28年10月
エリアネットワーク会議
○市内75の民間事業所・関係機関・団体等の代表が一同に会し、それぞれの取組を発表するとともに、地域共生社会の構築に向けて共通認識を持ち取り組むことを確認した。



平成29年9月
厚生労働事務次官講演会
○厚生労働省の蒲原事務次官による講演と、鈴木英敬三重県知事もお招きし、市長との鼎談を企画。「地域共生社会の実現に向けて」というテーマで3者による活発な議論に市民320名が聞き入った。



平成28年11月 教福連携名張サミット
○三重県知事 鈴木英敬
厚生労働省 定塚由美子社会局長
文部科学省 生涯学習政策局 西井知紀社会教育課長
をお招きし、市内ホールにて市民や関係者750名が参加のもと、地域福祉教育総合支援システムのキックオフ大会を盛大に行った。



平成29年9月
○厚生労働省 濱谷老健局長をお招きし、地域包括ケアシステム強化法 共生社会の構築について講演いただいた。



平成29年8月
農福連携・農泊推進 講演会
農水省都市農村交流課 日置課長をお招きし、共生社会推進の一環として福祉が行う農業や、農業の持つ資源の更なる有効活用によってすべての人々の社会参加を図り、働く場所や人材の確保を狙った。農山村と都市との共生を推進する農泊の取組を推進した。

③ エリアディレクター

地域懇談会（相談支援包括化推進会議） 新たな社会資源の創出・地域課題の把握



平成29年度
15地域15回の地域懇談会を開催
生活支援コーディネーターと連携し、地域課題を把握と課題解決に必要なサービス創出について話し合った。



地域の社会資源の取組状況

有償ボランティア(要援護者等日常生活支援事業)

家事支援及び庭の管理、日曜大工等の日常生活の困りごとに対する支援、必要に応じた安否確認が9地域において取り組まれており、移動が困難な方に対する外出支援事業が6地域で実施されています。

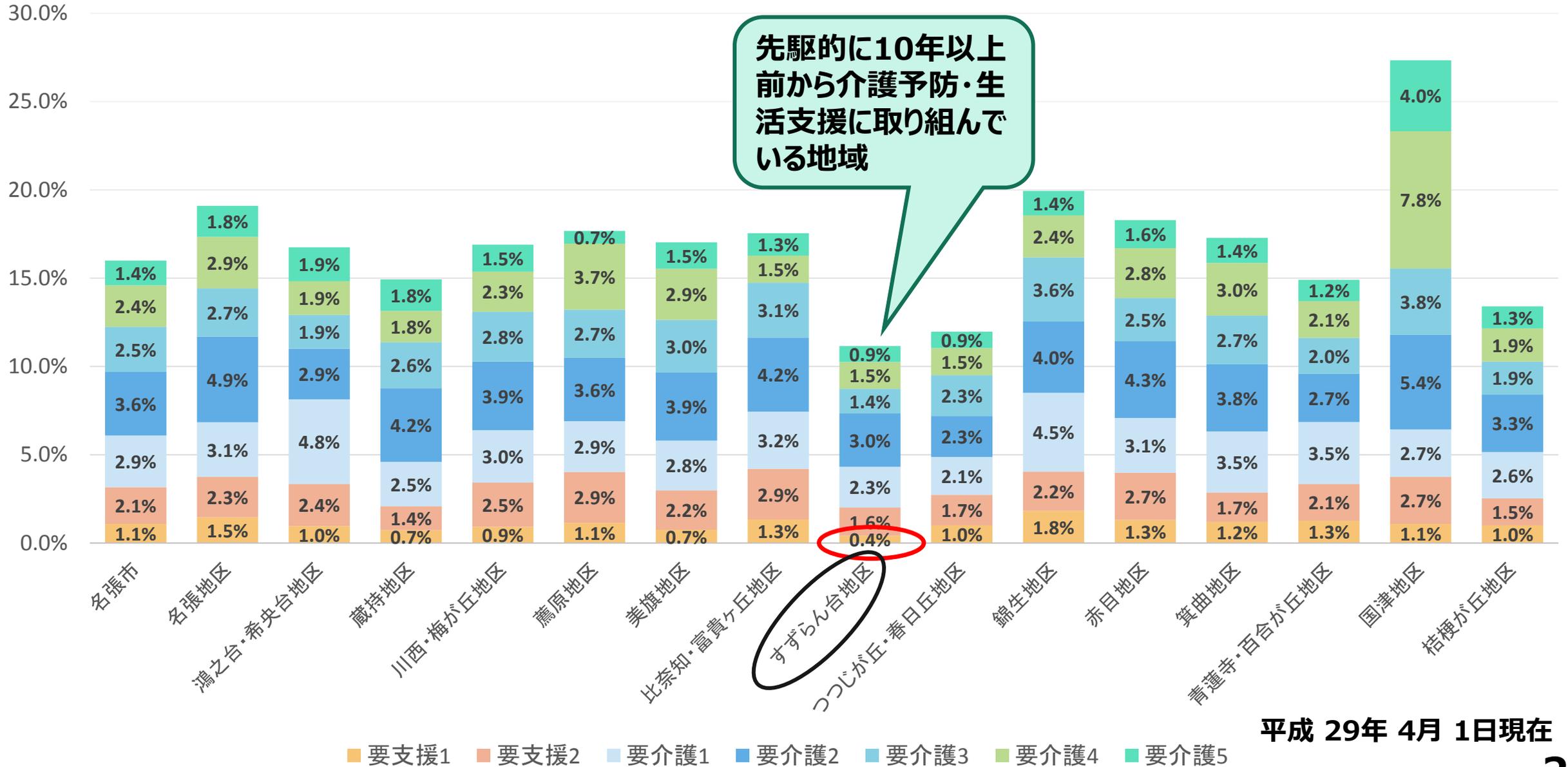
地域名	地域づくり組織内の当該事業 実施組織名	事業開始年月
すずらん台	すずらん台ライフサポートクラブ	 H20.4
青蓮寺・百合が丘	生活支援ボランティア「ポパイ」	 H23.4
名 張	隠おたがいさん	 H23.7
つつじが丘・春日丘	特定非営利活動法人 生活支援 つつじ・春日丘	 H23.11
比奈知	助っ人の会	H25.4
桔梗が丘	桔梗が丘お助けセンター	 H27.4
美 旗	はたっこサポート運営審議会	H28.4
薦原	コモコモサポート	H29.8
赤目	あんしんねっと赤目	 H30.6

地域の社会資源の取組状況

地域の社会資源一覧表

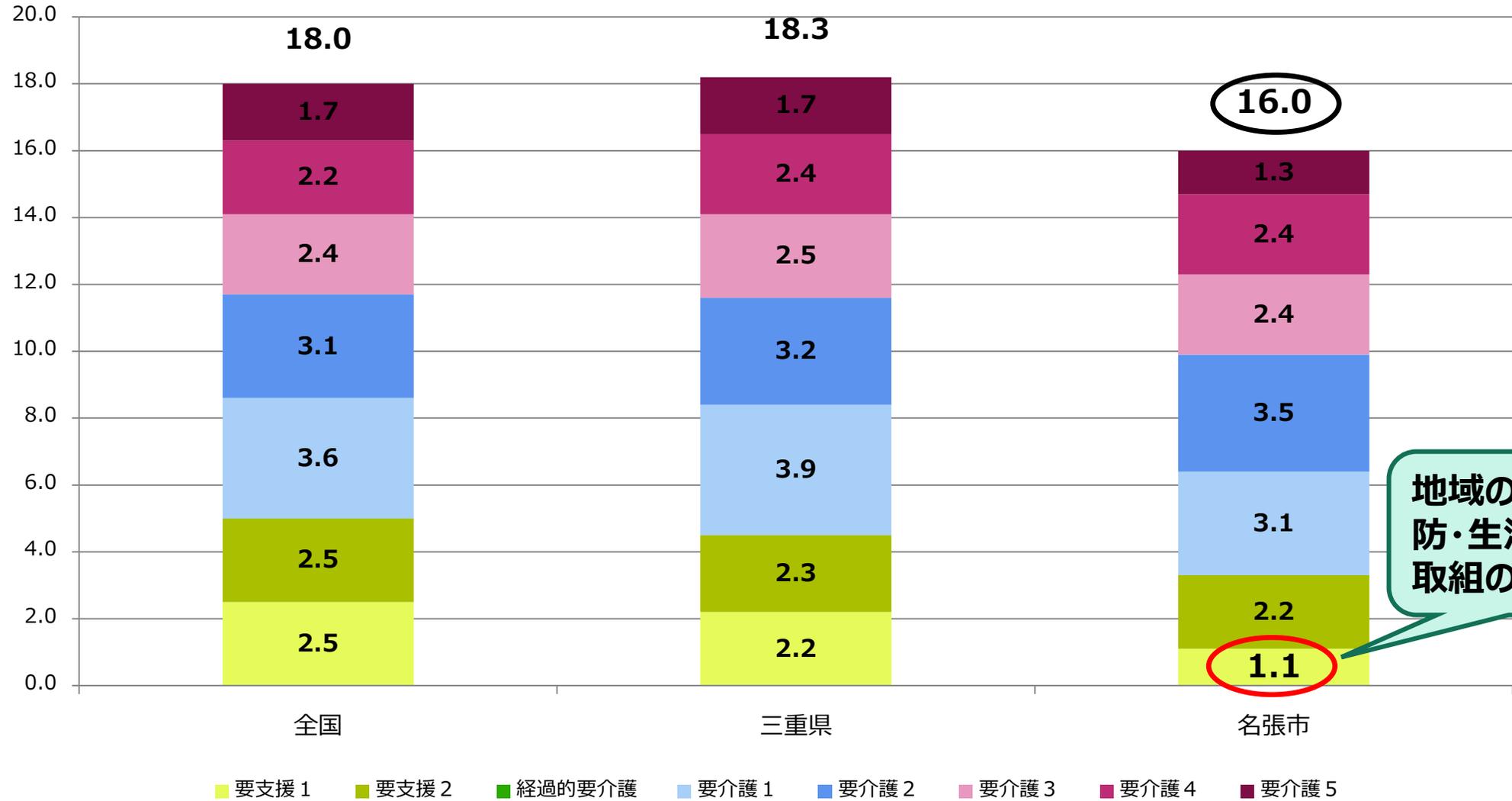
	(1) サロン事業	(2) 配食ボランティア	(3) 有償ボランティア	
名張	7サロン	ぷちとまと	隠おたがいさん	
鴻之台・希央台	1サロン	(ぷちとまと)	(隠おたがいさん)	
蔵持	6サロン	—	—	
川西・梅が丘	9サロン	—	—	
薦原	—	こもちゃん	コモコモサポート	
桔梗が丘	15サロン	お助けセンター	お助けセンター	
美旗	5サロン	たけとんぼ	はたっこサポート	
つつじが丘・春日丘	3サロン	配食サービスつつじ	ねこの手、は〜とバス	
国津	8サロン	—	—	
比奈知・富貴ヶ丘	7サロン	あい-あい(H29.7まで)	助っ人の会	
すずらん台	4サロン	ひだまり	ライフサポート	
錦生	3サロン	—	—	
赤目	5サロン	ひよこ(一ノ井限定)	あんしんねっと赤目	
箕曲	2サロン	—	—	
青蓮寺・百合が丘	8サロン	ゆりの花	ポパイ、ゆりバス	

要介護度別認定率(15地域別)



平成 29年 4月 1日現在

要介護度別認定率(国、県、市比較)

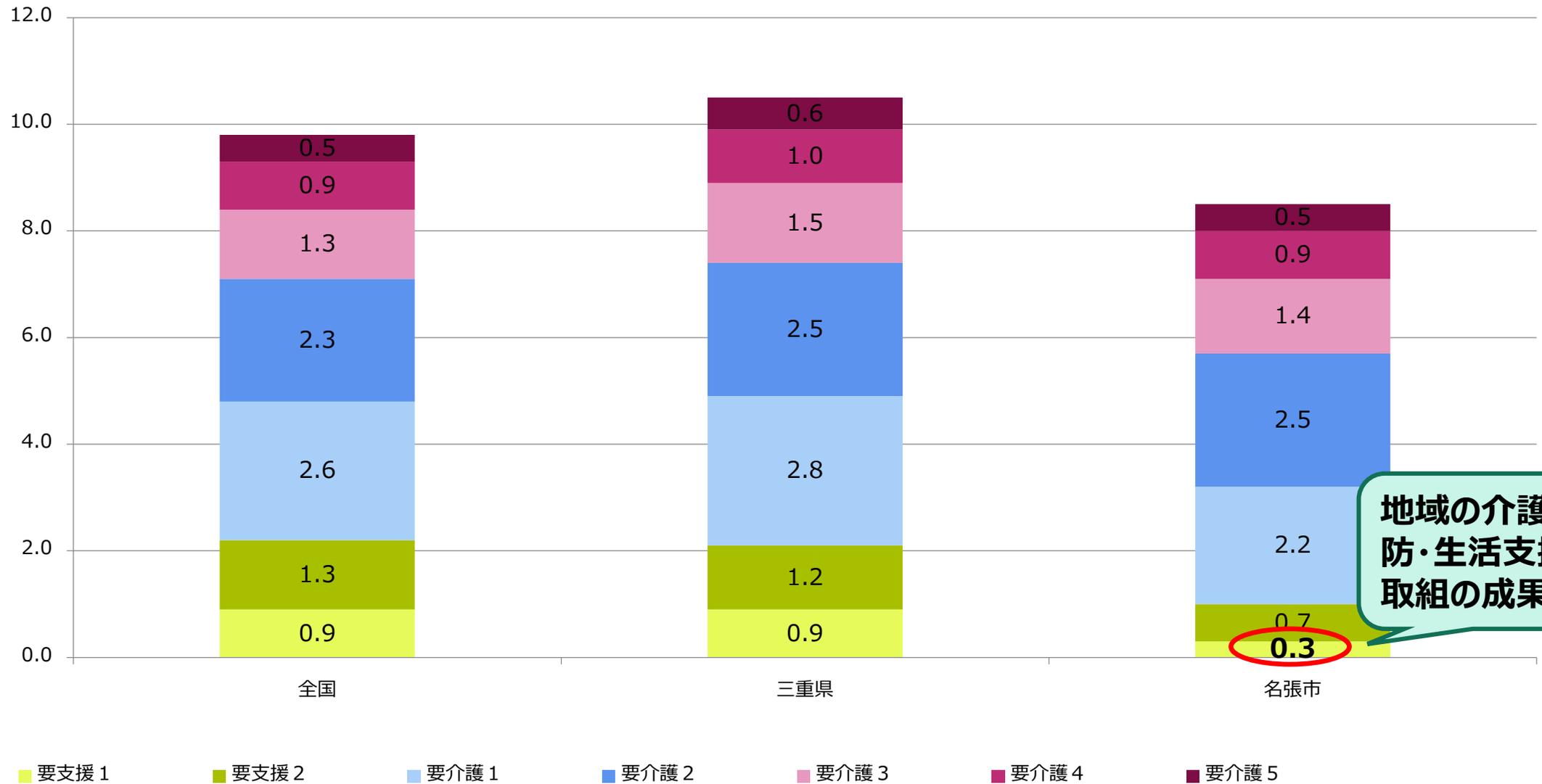


地域の介護予防・生活支援の取組の成果

(時点) 平成29年(2017年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成29,30年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

要介護度別在宅サービス受給率(国、県、市比較)



地域の介護予防・生活支援の取組の成果

(時点) 平成29年(2017年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成29,30年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)